

# 都技 生涯 研修 基本講習会 I

## [ 重要なお知らせ ]

1. コロナウイルス感染拡大防止目的により、参加申し込み者のみが視聴できるYouTubeの限定公開システムを用いたオンラインによるセミナー開催となります（\*オンライン環境がない方は会場参加可）。

2. **本研修会は東京都保健医療局からの委託事業となっております。**

**つきましては受講対象者は以下の方に限ります。**

- 東京都歯科技工士会会員
- 学生
- 東京都内在住または在勤の歯科技工士

## [ 申込開始日 ]

- 東京都歯科技工士会会員 : 6月28日(金) AM10時～
- 学生・東京都内在住または在勤の歯科技工士 : 7月1日(月) AM10時～

\* 受付開始日前のお申し込みは無効といたします。

## [ 申込方法 ]

① 参加希望者は申込用二次元コード、もしくは東京都歯科技工士会のホームページからお申し込みください。

ホームページURL: <https://www.to-ginet.com>

② 上記オンライン申込をされますと登録したメールアドレスに自動返信されますのでご確認ください。

\* 定員になり次第締切といたします。

## [ LINE 公式アカウント登録のお願い ]

緊急連絡、変更&追加報告をスムーズにさせるために都技では試験的にLINE公式アカウントを設けましたのでLINEを使用されている方は、是非とも登録をお願いいたします。



申込用



都技LINE公式  
アカウント二次元コード

## [ お問い合わせ ]

一般社団法人 **東京都歯科技工士会**

〒170-0004 東京都豊島区北大塚2-2-10 ヴィップ大塚香川ビル4F  
e-mail: [togi-info@to-ginet.com](mailto:togi-info@to-ginet.com)

## 2024年度 基本講習会 I

### オンラインセミナー

# おいしく、楽しく、美しく 摂食機能の実力

～超高齢社会における健康とは  
摂食嚥下リハビリテーションにおける  
歯科技工士の役割～

植田 耕一郎 先生

日本大学歯学部摂食機能療法学講座

Tokyo master course Science Lecture



[開催日時] **2024年 7月28日(日)**

入室 **12:40**

開始 **13:00** → 終了 **17:00**

### オンラインセミナー

定員 **80名** 参加費 **無料**

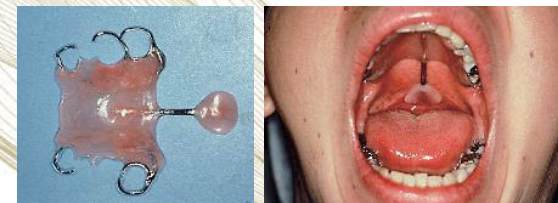
### 会場受講

定員 **10名** 参加費 **無料**

場所 **東京都歯科技工士会 研修室**

東京都豊島区北大塚2-2-10 ヴィップ大塚香川ビル4F

軟口蓋挙上装置 (PLP) の装着所見



頭部外傷により軟口蓋挙上不全を起こし、開鼻声(鼻漏れ声)となった。PLP 装着と同時に構音機能が回復する。



一般社団法人 **東京都歯科技工士会**

おいしく、楽しく、美しく  
摂食機能の実力

中途障害者（脳卒中などの疾患や事故等後の後遺症を持った障害者、要介護高齢者）に対する歯科の摂食嚥下リハビリテーションは、1990年に始まりました。

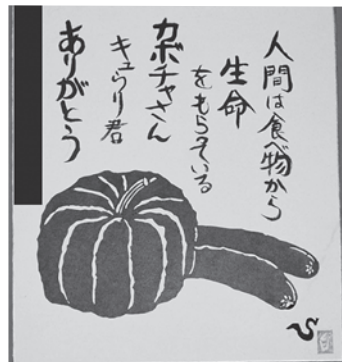
その年、都市型初のリハビリテーション専門病院である東京都リハビリテーションが墨田区に開院したのです。医局は20名の医師と歯科医師が私の1名で、入院患者は7割が脳卒中でした。それまで、脳卒中の「の」の字も歯科教育になかった時代です。脳卒中患者の口腔内は、歯垢、歯石どころではありませんでした。脳卒中後遺症の麻痺は手足ばかりではなく、口腔にもあったのです。

それが、摂食嚥下障害との遭遇でした。食べ物がそのままの形で歯を覆い隠すがごとく表面に付いていました。残存している28歯が全て残根状態であったり、数ヶ月間外したことのない義歯が口腔内に埋もれていたりなど、例をあげれば枚挙にいとまがありません。医師も歯科医師も、そして患者自身も、脳卒中の口腔内が悲惨な状態であることを初めて知ったのです。

もっとも多かった歯科診療は義歯関連でした。日々朝から晩まで、診療室、技工室（院外受注）共にフル稼働でした。軟口蓋挙上装置、舌接触補助床、マウススティックといった特殊技工はもとより、通常の義歯やクラウンについても、その場に歯科技工士が立ち会いました。

摂食機能障害をつきつめていくと、治療技術よりも健康観と死生観を伴う診療理念が必要とされます。今回は、要介護高齢者・障害者の摂食嚥下リハビリテーションを紹介し、診療理念について、ご参加の皆様といかに共有できるか、ご意見をいただきたく、検討いたしたく存じます。

脳卒中患者の利き手交換による書字の例



摂食機能障害を克服し、経口摂取が可能となった。

## ■講師略歴

## 植田 耕一郎

【うえだ こういちろう】



日本大学歯学部摂食機能療法学講座

## 略歴

1987年3月 日本大学大学院歯学研究科修了（歯学博士取得）  
1987年4月 日本大学歯学部 助手  
1990年6月 東京都リハビリテーション病院 医員  
1999年4月 新潟大学歯学部加齢歯科学講座 助教授  
2002年4月 日本大学歯学部摂食機能療法学講座 教授  
2024年4月 日本大学歯学部摂食機能療法学講座 特任教授

- 愛知学院大学歯学部 非常勤講師
- 奥羽大学客員 教授
- 2015年～2021年 日本摂食嚥下リハビリテーション学会 理事長

## 関連著書・ビデオ

1. 植田耕一郎：脳卒中患者の口腔ケア第2版，医歯薬出版，2015年
  2. 植田耕一郎：患者説明用・教育用ビデオ  
要介護高齢者の摂食・嚥下リハビリテーションと口腔ケア，デンタルダイヤモンド社，2001年
- 一般書 植田耕一郎：「長生きは唾液で決まる」6刷 講談社，東京，2014年  
小説 瀬田裕平（ペンネーム）：命のワンスプーン，彩流社，東京，2021年

MEMO